

編集後記

昨秋に開催された「ヘルスコミュニケーションウィーク 2023～福島～」は、『「未知なる不安」に対応するヘルスコミュニケーション ―原子力災害・コロナ禍を経験して―』をテーマに開催され、大変盛会となりました。今号では、そのヘルスコミュニケーションウィーク 2023 において開催された第 15 回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会の特集を掲載しています。大会長の安村誠司先生（福島県立医科大学）のご高配により、非常に関心が高く好評だったシンポジウムの内容をお届けできますことを大変ありがとうございます。

また、会期中に表彰のあったヘルスコミュニケーション関連学会優秀書籍賞の受賞書籍『これからのヘルスリテラシー 健康を決める力』の書籍紹介もいただきました。本のエッセンスがぎゅっと詰まっています。ヘルスリテラシーに関するこれまでの蓄積や議論の概要をつかむことのできる貴重な紹介となっています。読んだらきっとさらに書籍を手に取りたくなることと思います。ちょうど今号では、学術論文のほうもヘルスリテラシーや分かりやすい医療情報の提供に関する論文が掲載となりました。合わせて、ぜひお読みいただけましたら幸いです。

今号が、2022-2023 年度編集委員会がお送りする最後の号になります。この間、投稿をお寄せくださった皆さま、お忙しい中、査読をお引き受けくださった先生がたに改めて感謝申し上げます。次期の編集委員会はさらにパワーアップしていく予定です。引き続きお力添えいただけますよう、よろしく願いいたします。

編集委員長 石川ひろの

日本ヘルスコミュニケーション学会誌 第 15 巻第 1 号

Health Communication Research Vol.15, No.1

2024 年 4 月 1 日発行

日本ヘルスコミュニケーション学会誌編集委員会 (2022-2023)

編集委員長	石川 ひろの	(帝京大学大学院公衆衛生学研究科)
副編集委員長	杉本 なおみ	(慶應義塾大学看護医療学部)
編集委員	大野 直子	(順天堂大学 国際教養学部)
	奥原 剛	(東京大学大学院医学系研究科医療コミュニケーション学)
	榊原 圭子	(東洋大学社会学部社会心理学科)
	島崎 崇史	(東京慈恵会医科大学医学部環境保健医学講座)
	高永 茂	(広島大学大学院人間社会科学研究所)
	八巻 知香子	(国立がん研究センターがん対策研究所がん情報提供部)

第 15 回日本ヘルスコミュニケーション学会学術集会報告 編集

安村 誠司 (福島県立医科大学医学部公衆衛生学講座)

編集事務補佐 小川 留奈 (帝京大学大学院公衆衛生学研究科)

発行者 日本ヘルスコミュニケーション学会

<http://healthcommunication.jp/>
